

令和元年度

委員会だより

NO. 3

教育・環境委員会編

北海道PTA連合会

令和元年12月16日（月）発行

令和元年12月7日（土）に、第3回委員会が開催され、令和2年度の北海道ブロック研究大会函館大会での第2分科会の運営、各地区の様子等、今年度研究のまとめと次年度の方向性等について協議しました。

（1）令和2年度 北海道ブロック研究大会函館大会の発表について

① 第2分科会を担当し、提言題等は以下のようにする。

- ・ 提言分科会 ○第2分科会 「家庭教育」
○人生100年時代における親の学び、子の学び
- ・ 提言PTA ○上川南部PTA連合会 富良野市PTA連合会

* 具体的な提言内容等については、今後検討し、協議を進めていくこととする。

令和元年度 教育・環境委員会 研究のまとめと次年度の方向性

1. 今年度の研究テーマ

「子どもとともに 大人も学び合い 心豊かな共育を目指して」
～子どものために、大人がどう行動するか～

2. 成果と課題

① 成果

ア 令和2年度北海道ブロック研究大会函館大会における提言発表に向けて

本委員会の協議の中で常にキーワードとなっていたのが「親の学び」であった。少子高齢化やグローバル化、ICTやAIの急速な発展など、社会が大きく変化する中、教育のあり方も変わろうとしている。次年度より小学校では新学習指導要領による新しい学校教育が全面実施される。大学入試や高校入試も改革も進んでいる。変革期を迎え、親はその変化に戸惑うことなく、親の役割をしっかりと果たしていかなければならない。本委員会では、「今まさに、PTA活動における“親の学び”が不可欠である」との共通認識にたち、協議や各地区Pの取組の交流を重ねてきた。委員会における研究の方向性が定まったことにより、1年を通して活発な意見交換が行われた。

次年度開催される日P北海道ブロック函館大会の大会主題は「未来ある子どもたちのために、責任を持てる親となれ！～現状を学ぼう 学びを生かそう 実践へつなげよう～」である。本委員会が提言を担当するのは「第2分科会 家庭教育」であり、その分科会テーマは「人生100年時代における 親の学び 子の学び」に決定された。それを受けて、第2回教育・環境委員会において分科会サブテーマを「未来を生きる子どもたちに求められる力を育む家庭教育」と定めた。

そして、「親の学び」を念頭に置いた協議や各地区Pの取組を交流する中で、函館大会で提言発表

する地区PTAを、自ずと見いだすことができたことも、今年度の大きな成果と言える。

イ 令和4年度日P北海道ブロック研究大会における提言の構想について

研究のサイクルから、本委員会における令和4年度の提言は、「研究内容 大人の環境整備活動」を研究の対象にすることを確認した。

ウ 各地区PTAの実践交流について

各地区の実情を生かした特色ある研究活動が行われていることが交流された。その中で、これからの教育について「親の学び」を充実させようという取組も数多く報告された。

例えば、市P連の取組として「大人の学校」と称して、保護者対象に道徳や英会話、読み聞かせの模擬授業を行い、招集をかけなくても約50人もの保護者集まった取組や、これからの時代の教育について、多くのことを学んでもらうためにセミナー形式の分科会にして、「ネットトラブル」「コミュニティ・スクール、小中一貫教育」「キャリア教育」「救命救急」「子育てのヒント」等の11の講座を設定し、その中から参加者が話を聞いてみたい講座を2つ選択できるようにした取組等、これまでにない研究活動が報告された。

② 課題

平成28年度より、日P北海道ブロック研究大会で本委員会が提言を担当するのは、2年で1度のサイクルとなった。発表年度の異なる2つの研究内容について、毎年軽重を付けながら同時に活動をすすめていくことになる。

今年度は「研究内容1 子どもの教育活動」について重点的に取り組んだが、次年度は「研究内容2 大人の環境整備活動」に重きをおいて研究推進することになる予定である。

本委員会の委員は毎年変わり、会議の回数も限られている。継続した活動を展開するために、引継の工夫と効果的な委員会運営がより一層必要となる。

3. 次年度の方向性

次年度は日P北海道ブロック研究大会函館大会の第2分科会での提言を担当する。道P事務局はもちろんのこと、大会実行委員会や提言を担当する地区PTAと連携し、充実した分科会になるよう準備を進めていく必要がある。

また、令和4年度の日P北海道ブロック研究大会の提言発表に向けて、重点を置いて研究を進めていくことにもなる。研究内容は「2 大人の環境整備活動」になる。具体的には「安心安全な地域づくり」「子どもを守り育てるための研修」「子どもへの働きかけ」についての研究協議や事例収集をすることが重要になってくると考えられる。

これらの活動を円滑に進めるために、年次計画の立案と共通理解が大事なポイントとなる。

*委員の皆様には、お忙しい中、委員会へのご出席並びにご意見等いただき、ありがとうございました。また、各地区での活動等もありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

*「委員会だよりNO. 3」は、道P連のホームページ

「委員会 2019年度」に掲載します。



北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目3番地22

S T V時計台通ビル6階

Tel (011) 251-6937 FAX (011) 210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp